

平成28年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞個人・団体 活動概要

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
最優秀賞	農林水産大臣賞	女性地域社会参画	茨城県 神栖市	はらのりこ 原 範子	昭和53年に結婚し、非農家から就農。夫婦二人三脚で農業経営に取り組み、平成5年に茨城県女性農業士に認定、平成12年に家族経営協定を締結、平成17年には地域農家とのエコファーマー共同申請、平成19年には夫婦連名による認定農業者の共同申請を進めてきた。農村女性の資質向上、後継者育成、地域農業の振興等に幅広く活躍し、平成12年からは小中学生を対象に、食農教育活動として毎年出前講座を開催。また、農業委員をはじめ、神栖市男女共同参画審議会会長、茨城県農政審議会委員、ふるさとづくり有識者会議委員、全国生活研究グループ連絡協議会会長等を歴任し、県政や国政へ農村女性の代表として意見や提言をするとともに、女性の能力活用、職域拡大に尽力。「女性の元気が農村を変える」という思いを常にもち、自らの学びと前向きな活動を進め重責を全うする姿は、他の女性農業者の模範となっている。
最優秀賞	農林水産大臣賞	女性地域社会参画	群馬県 みなかみ町	すずき はるみ 鈴木 春美	JA利根沼田女性部長就任を機に、女性が積極的に活躍できる環境づくりのため、JA常勤役員と女性部員の意見交換会を定例化させるなど、女性の声が活かされる環境を確立。また、女性理事登用の要請と、勉強会・研修会等の開催により女性理事数の増加に貢献。「ぐんま農村女性会議」の会長就任を契機に、女性農業委員のいない市町村の解消に向けた積極的な要請を行い、地元の市町村で3名の女性農業委員を誕生させるなど農業分野の男女共同参画推進に貢献。また、自身もみなかみ町農業委員として地域の家族経営協定の推進等に取り組むとともに、JA関東甲信越地区女性組織連絡協議会会長、JA全国女性組織協議会会長他、幅広く多数の委員等を務め、女性の感性を活かした農業の推進や地域の発展、男女共同参画社会の推進などを目指して精力的に活動。多くの女性農業者の励みと模範になっている。
最優秀賞	農林水産大臣賞	女性起業・経営参画	群馬県 前橋市	ふじみのうさみぶつ 富士見農産物 かこうくみあい 加工組合	平成3年に味噌づくりと地域農産物を原料とした特産品の開発を目的に女性だけの組合として発足。消費者の信頼に応えるため、「100%地元産」という厳しいルールを定め、地産の徹底を図った。平成5年に新たに加工所を併設した直売所を開設。運営管理を加工組合の女性が全て担い、併せて定年制度や退職金制度の導入など働きやすい環境を整備した。また、加工体験教室の定期的な開催、学校給食への食材提供、保育園へのおやつ提供など、消費者との交流を積極的に行い、買い物弱者である高齢者への訪問販売など、交流や定期的な見守りにつながる社会活動に貢献。一方、「富士見村農業・農村男女共同参画推進事業地域検討委員会」の委員等、男女共同参画も積極的に推進。女性の運営する加工組合の先駆けとして、若い女性農業者への指導や資質向上支援等も積極的に努め、担い手育成にも力を入れている。
最優秀賞	農林水産大臣賞	シニア起業・地域活性化	三重県 伊賀市	とくてい ひえいり かつどうほうじん 特定非営利活動法人 あわてんぼう	過疎化や少子高齢化、獣害に苦しむ地域の中で、高齢者の豊富な経験や女性目線で課題を解決し、地域住民が健康で安心して暮らせる里づくりに取り組む。法人設立から運営まで女性が中心となって行っており、閉園する保育園を山里レストランとして開設、あわ(阿波)てんぼう(展望)の活動拠点とし、地域の食材を使った料理を提供するとともに、高齢者世帯への宅配弁当など、地域の生活ニーズに応える。また、地元の高齢者や女性が生産する食材を積極的に利用、食材提供の場があることで、地域生産者の営農意欲の向上にも貢献。地域住民のリクエストにも応じたメニューや、シカ肉を活用したジビエ料理は好評を得ている。また、そば打ち段位を取得したメンバーによる手打ち蕎麦の提供や体験指導など、地域資源を活かした季節ごとの企画や観光体験プランとのコラボ企画などによって、遠方からの来訪者やリピーターも創出。地域の集いの場・賑わいの場となっている。
最優秀賞	農林水産大臣賞	シニア起業・地域活性化	岩手県 釜石市	ふじい さえ子 藤井 サエ子	平成12年に実家の遊休農地に景観作物としてコスモスを植栽、地域内外の人々を楽しませるとともに、平成13年近所の農家10人で「ミニ産直コスモス」を開設し、押し花など各種体験教室、餅・団子等の加工品の製造販売を経て、平成19年に「農家レストランこすもす」を開業。東日本大震災後に一旦休業するも、地域住民からの要望を受け2か月後に再開。兼ねてから準備していた民泊許可を取得し、市内外からの復興ボランティアを受け入れる。一方、仮設住宅の設置により子供達の遊び場が減ったことを懸念し、地域住民や復興ボランティアの協力を得て、遊休農地(コスモス畑)を公園として整備、隣接する工場の壁に「希望の大壁面」を作成するとともに一般に開放した。公園は子供たちの遊び場としてはもちろん、各種イベントが開催され、県内外から年間4万人が利用する地域の観光拠点の一つとなっている。

平成28年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞個人・団体 活動概要

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
優秀賞	経営局長賞	女性地域社会参画	山梨県 甲州市	みつもり 三森 かおり	農家に生まれ育ち、農業後継者との結婚を契機に就農。次世代の後継者作りと事業拡大を目指し、平成18年に「有限会社ぶどうばたけ」を設立。直売や果樹の加工品販売による観光農園、甲州ブドウを主としたワイン醸造及び販売などの他、農業や農村の魅力を発信する取り組みとして、県内初となる農家体験民宿も経営。一方、地域の将来を見据え、平成23年に「NPO法人えがお勝沼」を設立し、子牛放牧による耕作放棄地の解消や都市農村交流プログラムを提供、平成25年には、定住・交流人口の増加を目指して「未来を紡ぐ勝沼協議会」を設立。親子での農作業・農産加工体験や地域の歴史勉強会を開催。平成19年山梨県指導農業士に認定、平成20～24年には県総合計画審議会委員、平成22年には農林水産省食料・農業・農村政策審議会委員、現在は、一般社団法人日本農業法人協会理事、内閣府規制改革推進会議農業ワーキンググループの専門委員など、女性農業支援のため多方面かつ積極的に活躍している。
優秀賞	経営局長賞	女性地域社会参画	鹿児島県 日置市	さこ ちほこ 迫 千穂子	昭和50年に結婚と同時に就農。当時女性としては珍しかった大型機械の免許を取得し、夫とともに酪農経営に従事。経営を法人化し、現在規模は4倍、売上げは6倍となっている。その傍ら、平成7年に仲間と「吹上地区女性政策研究会レディースアップカルチャー」を結成。女性の声を施策に反映させようと学習し、地区内外で農業委員や議員への女性の参画の必要性を訴え、農村女性の資質向上、社会的評価の向上に尽力。取組により、県の女性農業委員は平成27年9月には79人と全国でもトップ10に入り、自身も議会推薦で2期、現在公選で3期目を務める。また、町初となる夫婦・後継者間での家族経営協定を締結し、地域をはじめ県内外で家族経営協定の必要性の普及と定着も図る。また、県農村女性リーダーネットワーク、鹿児島県酪農協同組合本所女性部の設立など、女性農業者の資質向上、情報交換の場としてのネットワーク作りにも尽力している。
優秀賞	経営局長賞	女性地域社会参画	兵庫県 伊丹市	こにし かずこ 小西 和子	昭和43年から農業に従事。県下初の女性の農業共済損害評価会委員に就任し、女性視点の提案やきめ細かい活動によって女性委員としての存在感を高め、市では12地区から選出される委員の約半数に女性委員が登用された。また、「兵庫県都市農業振興基本計画検討会議」委員として、女性農業者の立場と自身の活動経験を生かした視点で、都市農業における問題点や消費者交流の促進等、都市農業の振興方策について積極的に提言している。また、市で初めて家族経営協定を締結した経験を講演などで県内外へ発信し、市内で新たに4戸の家族経営協定締結に貢献。平成18年度には、地域特産物づくりを通じた地産地消を推進するため「伊丹農産物加工グループあゆみ」を組織し、地元産農産物を使った加工品の商品化を実現。現在も、女性の社会参画や自主性を高める場づくり、起業活動による農家女性の所得向上に貢献している。
優秀賞	経営局長賞	女性起業・経営参画	佐賀県 太良町	こうぼう 工房 みかんの里	伊福生活改善実行グループから発展して結成された太良町で唯一の農産物加工組織。太良町地域興し活動による農産物直売所建設を機に、20代～60代の19人により結成された。加工品開発については、昔ながらの饅頭や餅のほか、太良町特産のみかんを取り入れた商品開発に力を入れており、新商品を次々に開発している。また、農家の知恵と技を町内の保育園、小学校に教えに行くなど、町内の地域住民、保育園及び小学校との交流会や農作業体験を実施して、地産地消・食農教育にも取り組んでいる。また、幅広い年代を超えた会員間の融和を図るとともに、特産物直売所「たらふく館」を核に他の出荷者とともに消費者との交流を図り、地産地消や、食農教育に継続的に取り組む等、太良町内の農村女性活動の先頭に立った活動を展開している。
優秀賞	経営局長賞	女性起業・経営参画	長野県 御代田町	あじこうぼう 味工房「みよた」	平成14年の団体設立以来、「地場産物を安全・安心な加工食品として地域の食卓へ届け、その技術を伝えながら仲間作り・地域づくりを行いたい」との理念を掲げて活動。御代田町における6次産業化の先駆けとなる。初年度7トンの味噌生産から始まり、平成27年度は11.3トンと大きく増加、加工品目も多岐に及ぶ。生産する3種類の味噌と、町で生産された糖度の高いかぼちゃを原料にした焼酎は町認定の特産品に指定され、地元はもちろん観光客にもお土産や贈答品として人気がある。また、味噌や野菜の加工品を学校給食の材料として納入、町や農業団体が開催するイベントに地元産野菜と合わせて販売するなど、地産地消の推進・食育分野でも大きく貢献。会員向けの販売や学校給食等への納入を中心に、原材料費や団体としての活動費を賄い、収支バランスよく安定した活動を続けている。

平成28年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞個人・団体 活動概要

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
優秀賞	経営局長賞	女性起業・経営参画	京都府 京都市	じゅじゅ かい 樹々の会	平成11年に結成。女性林業研究会のさきがけとも言えるグループ。女性の目線、女性の立場から森林資源の利活用や森林整備などの実践活動を行うとともに、森林・林業や木材利用についての知識を深め、「木のまち・京北」のPRを広く行うなど、その活動は地域に大きな刺激を与えている。地域の特産物を目指したマイタケ栽培と研究にも長年取り組み、他都市との「マイタケ交流会」を開催。京北地域で自生しているクロモジ(クスノキ科落葉樹)の機能性成分に着目した加工品も開発し、平成27年度には健康茶、飴、入浴剤等を商品化、新たな森林資源の用途開発と地域活性化に大きく貢献しているとともに、この商品の売上げの一部が京都市の森づくりのために寄付され、森林保全などに役立てられている。また、地域のイベントにおいて、林産物やその加工品を販売し、農山村の恵みを都市住民に紹介するなど、農山村と都市を結びつける役割も果たしている。
優秀賞	経営局長賞	シニア起業・地域活性化	福島県 伊達市	やまふにゆうはいやま せいかつかいぜん 山舟生羽山生活改善 グループ	昭和61年に発足。地域の食生活改善活動と、地場産物の活用や伝統的な食文化を次世代へ継承することを中心に30年にわたって活動している。グループの要である会長の秋葉初子氏は90歳。平均年齢70歳のグループを力強く牽引する。地場産物を活用した地域の特産品開発として、食品添加物を使わない漬物「羽山(はやま)漬け」の開発や、地域の特産品「あんぼ柿」を使った懐石料理の開発に取り組み、地元の子供たちに郷土食に関心を持ってもらうため、あんぼ柿の料理コンクールでは、小学校6年生にも審査員を依頼するなど、地域住民や小学校と連携し、活動を行っている。平成17年からは、地元の産業伝承館の管理委託を任せ、農家レストランの運営では、「食品添加物を使わずに地場産物を調理し、安全で美味しいものを皆さんに食べてもらいたい」と梁川町の伝統料理や、野菜料理を提供する他、かつて盛んだった当地の養蚕文化について子供たちに伝承する活動も行っている。
優秀賞	経営局長賞	シニア起業・地域活性化	愛知県 設楽町	なぐらこうげんせいさんくみあい 名倉高原生産組合	平成11年に営業を開始した「道の駅 アグリステーションなぐら」の管理団体として設立。道の駅の農産物直売所の集客力を高める事業を主な活動とし、女性起業グループが商品開発した「エゴマだれ五平餅」を道の駅の看板商品にするため、組合員もエゴマを栽培するように働きかけて増産を進めた。これにより、女性起業グループが、新たな商品も開発するなど成果をあげてきた。組合員の8割以上が65歳以上だが、地場農産物を増やすために、野菜栽培講習会、農産物品評会を開催するなど組合員の栽培意欲の向上に務め、9割以上の組合員が直売所へ出荷するなど、組合員が一丸となって名倉地域の農業振興に貢献している。また、消費者との交流を図るために取り組んだ「栽培指導付き貸農園」事業では、直売所の顧客獲得に加えて、直売所に出荷できるトマト農家を輩出するなどの成果も上がっているなど、農業の魅力発信や理解促進に繋がっている。
優秀賞	経営局長賞	シニア起業・地域活性化	宮城県 川崎町	かわさきまちせいかつけんきゅうかい 川崎町生活研究会	昭和58年に各地区の生活改善クラブが会員の減少等により統合され、平成20年3月に事業をより活発なものとするべく「川崎町生活研究会」に改組した。現在研究会では、「地場産物の活用と継承」をテーマにして郷土料理や手芸等会員それぞれが得意とする分野の講習会を継続的に開催し技術を伝えるとともに、会員相互の交流を図っている。地域の郷土料理を伝える活動の一方で、これらを現代風にアレンジし特産物に新たな付加価値をつけて発信する活動も実施。平成25年に川崎町教育委員会からの依頼により、小学校で地場産物を使ったおやつ作りの指導を行い、平成26年には、町の「かわさきつ子応援団」の学校支援ボランティアに登録となり、今後食育活動により力を入れていくことを目指す。また、元々会員個人で栽培していた雑穀(あかきび)を新たな地域の特産品にしようと、試験栽培や商品開発を開始するなど、常に新しい発想により活動の場を広げている。
優秀賞	林野庁長官賞	女性地域社会参画	岡山県 新見市	やまぐち きくこ 山口 紀久子	結婚後、家業の林業、シイタケ生産に取り組む。昭和56年に地域のしいたけ生産者の女性メンバーを中心として、当時としては珍しい婦人林業研究グループを設立。枝打ちや間伐の講習会、林業の基本となる技術の習得と、しいたけ生産では、品質向上や増産により農山村地域においても女性が現金収入を得て自立することを目指して活動している。近年は、グループの平均年齢が70歳代となり、以前のような活動は困難になったが、地域の重要な産業である森林・林業に興味・関心を持ってもらうため、孫世代に当たる小学生等を対象にした森林・林業教室を年1回以上開催。平成18年度からは、自身の所有山林で、四季折々の花や紅葉を楽しむため、地元の小学生と0.2haの広葉樹を中心とした「七色の森」を造成、毎年下刈り等の保育作業を実施している。また、平成元年からは岡山県森林審議会委員、平成10年からは県林業改良普及協会の役員として、女性の目線に立った助言を行っている。

平成28年度 農山漁村女性・シニア活動表彰 受賞個人・団体 活動概要

賞の種類	賞の名称	参加部門	都道府県名	個人・団体名	活動内容
優秀賞	水産庁 長官賞	女性起業・ 経営参画	秋田県 八峰町	おかもと 岡本 リセ子	消費者の魚離れが進む中、規格外のため安価で取引されている魚介類を加工・販売し、平成14年には漁家収入の安定と向上に役立てるため、秋田県漁業協同組合北部地区女性部の有志で加工グループ「ひより会」を立ち上げ(平成19年4月に法人化)。設立時より代表を務め、これら地域活性化活動を長年に亘って牽引している。地元で大量に漁獲されるハタハタを使った伝統の魚醤「しよつる」の製造・販売に着手し商品化、町から販路開拓の支援もあり、地域の特産品として秋田空港や県内道の駅、漁協のホームページ等で販売し、好評を得る。平成18年3月には直売所をオープンし、惣菜と魚介類の一次加工品を販売。また、町内の学校給食センターや県内山間部の2つの学校給食センターに魚介類の一次加工品を納入し、魚食普及のための食育授業も行う。また、平成11年から27年まで秋田県漁協女性部連絡協議会会長、平成23年から25年まで全国漁協女性部連絡協議会会長を務めている。
優良賞	全国森林 組合連合 会会長賞	シニア起業・ 地域活性化	石川県 穴水町	たにくち ふじこ 谷口 藤子	30歳の時、「能登の自然保護の会」への入会を機に能登の山の植物の調査・観察を続けている。昭和40年頃「あすなるこけし工房」を立ち上げ、県木「あて」の枝を利用した「こけし」や、山野から得られる素材を使ったクラフト品を製作、イベントなどで展示・販売を行う。平成19年に日本特用林産振興会の山菜アドバイザーの資格を取得、山菜を通じて山の魅力を伝えたいと平成20年に林業研究会の女性メンバーでグループ「森の幸」を立ち上げる。地域の女性が活動できる場所を提供することで地域の活性化や、荒廃する能登の里山の保全活動と、食を通じて自然豊かな能登のPRを行うことを目的に活動。能登地域で採れる山菜や野菜などの地物のみを手作りにこだわって加工に取り組み、商品は県内各地の農協直売所や道の駅で好評を得ている。平成26年にはこれまで蓄えてきた能登の植物・山菜の魅力を本にまとめ出版するなど、長年の幅広い活動は能登地域の活性化、魅力発信に大きく貢献している。
優良賞	全国漁業 協同組合 連合会会 長賞	女性地域 社会参画	福井県 おおい町	こすえ としこ 子末 とし子	昭和44年に結婚し、平成7年に大島漁業協同組合女性部に加入。地域では、魚の加工品づくり、海浜清掃、花壇や海岸沿いの花いっぱい活動等を行っている。特に、魚の加工品作りでは、地元で獲れる小魚や低価格魚に付加価値を付けようと「しまジャコ天」の研究開発を手がける。平成22年度に「おおい町水産加工センター」が完成し量産可能となり、地元の特産品として直売所や、道の駅でも販売。漁家収入の向上を図るとともに、地域の活性化を図っている。また、県内の小・中学校にて、魚のさばき方と魚料理教室を、平成14年からこれまでに約450回にわたり開催し、延べ1万人以上に指導。平成15年に大島漁業協同組合女性部部長、同年福井県漁協女性部連合協議会副会長に就任、そして平成23年には、福井県漁協女性部連合協議会会長、平成26年には、水産庁長官より「お魚かたりべ」に任命。魚食普及活動として、県内外のイベントにも積極的に参加するなど、加工品の即売・地元魚介類のPRに尽力している。
優良賞	全国農業 協同組合 中央会長 賞	女性地域 社会参画	宮城県 石巻市	たかはし ちよえ 高橋 千代恵	昭和51年に結婚。水稻と養豚の専業農家となる。これからの農家は夫婦での取り組みが必要と、講習会や勉強会等にも2人で出席し、農業経営に対する考え方を共有する。平成5年に県内初の土地利用型一戸一人法人を設立し、取締役となる。平成14年に桃生地区で最初の家族経営協定を締結。趣味の充実等を盛り込んだ女性目線の協定書は後続の農家の手本となり、締結農家の増加に貢献するとともに、旧中津山農協フレッシュミセス会長時代には、桃生町家計簿記帳グループ「八輪会」を設立し、農業簿記を活用し女性農業者の経営力向上に貢献。また、自ら地区の小学校に食育を提案し、大豆の栽培から豆腐作りまでを毎年指導し、子どもたちの農業に対する関心を高める活動も行う。平成24年に石巻市議会より推薦を受け市初の女性農業委員に就任。同年女性部を設立し、活動の活性化のため平成27年から自社水田を活用した親子農業体験を企画・開催。女性部と地域女性組織の相互連携を図る場の創設に貢献し、地域を越えた交流活動の拠点となりつつある。